

本年度の重点『新しい学校教育を推進し、子どもの「いつも（日常）」を支え、広げる』

学校だより 小倉総合通信



# こくらそうごう

4月号①（令和6年4月8日）

小倉総合特別支援学校

校長 前田 孝二

## 令和6年度がスタートしました

校長として本校に赴任し、2年目となりました前田です。教職員一同、保護者様や地域の方々と共に、本校の子どもたちの成長と幸せのため、「一人一人の心に寄り添う」教育を目指して参ります。子どもたちが「学校に行きたい」「学校が楽しい」と思えるような、よりよい学校づくりに努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



## 進級おめでとうございます

4月8日の着任式では、36名の教職員を新しく迎えました。今年度は教職員170名で指導・支援にあたります。

小学部71名、中学部39名、高等部40名、訪問教育部9名の児童生徒が新年度をスタートしました。子どもたちの「いつも（日常）」を支え、広げる教育活動の工夫に、教職員一同取り組んでまいります。どうぞ、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



## 基本的な感染症予防対策の変更と継続について

これまで実施していた感染症対策を一部変更させていただきます。

マスクの着用（児童生徒）	継続	着用については、個人（ご家庭）の判断とします。
マスクの着用（教職員）	一部 変更	着用については個人の判断とするが、本校児童生徒の実態及び市内の感染状況に応じて着用の判断をお願いする。なお、感染症流行時は、着用の協力依頼をする。
歯みがき及び口腔ケアの実施制限 (現在は自分で実施できる児童生徒のみ)	変更	感染症対策をとりながら、実施可とします。学校での歯磨き・口腔ケアをご希望される場合は、担任までご相談ください。
フェイスシールドの着用 (給食介助・トイレ介助・授業等)	継続	特に感染症に注意が必要な児童生徒の対応時を除いて、原則フェイスシールドは不要です。
教室での検温・健康観察	継続	教室での検温・健康観察は引き続きしっかり行います。
発熱や感染症が疑われる症状がみられる場合の個室対応	継続	登校後に発熱等の症状がみられた場合には、保護者連絡の上、個室対応や早退等も検討させていただきます。
日常の換気・清掃・消毒・洗濯等	継続	換気・清掃・消毒・洗濯等は適宜行います。
ランチルームの分室化	継続	当面の間は、現行通りの対応を継続します。
給食介助時、使い捨て手袋を着用	継続	給食介助を必要とする児童生徒を担当している教職員は、引き続き使い捨て手袋を着用します。
トイレ介助時のビニールエプロン及び使い捨て手袋着用	継続	衛生面を考慮し、使い捨て手袋の着用を基本とします。必要時、ビニールエプロンを着用します。